



■佐藤陽子さん、42歳。会社員の佐藤さんは、現在東京で一人暮らし。遠く離れた両親に毎月仕送りをしています。しかし昨今の不況で収入は減るばかり。150万の借金をかかえながら、日々の生活費にも苦しみ、最近では食欲もなく眠れない日が続いています。



### (オフィス)

保健師：こんにちは。どうかされましたか？

サトウ：（元気がなく、落ち込んだ様子。）少し聞きたいことがあってきました。

保健師：なんででしょうか？

サトウ：はあ～、ちょっと……

保健師：そうですか。（やや怪訝な様子）どうぞお入りになって座ってください。

サトウ：（軽いなづき）

保健師：お名前をお聞きしてもいいですか？

サトウ：ハイ、サトウといいます。

保健師：サトウさん、今日はどんな理由でいらっしゃいましたか？

サトウ：少し体調が悪くて…

保健師：そうでしたか？どんなふうに体調がよくないんですか？

サトウ：なんか、ちょっとだるいです……

保健師：サトウさん、今、何されていますか？

サトウ：会社勤めです。

保健師：そうですか。会社の健康診断では何か体調不良の原因について言われてませんか？

サトウ：いや特に…。

保健師：だるい以外には何かありませんか？



サ ト ウ：最近、少し食欲がないです。



保 健 師：ほかに具合悪いところはないですか？



サ ト ウ：少し眠れない時もあります。

保 健 師：どこかかかっている病院とかありますか？内科とか外科とか？



サ ト ウ：風邪をひいたりすると、近くの内科に行きます

保 健 師：そこの内科には相談されなかったんですか？



サ ト ウ：……いえ……。

保 健 師：であれば、体調不良については、まず病院いった方がいいですよ。

ここでは検査もできないですから。病院行けばいろいろ見てくれるし安心ですよ。



サ ト ウ：……はい……（沈んだ様子）。

保 健 師：ほかに何かありますか？

サ ト ウ：気分がすぐれない時があります。

保 健 師：体調不良であれば、気分はすぐれないですよ。辛いようだし、早く病院行った方がいいですよ。（せつかく、気分の問題を伝えたにもかかわらず、話を深めず、とにかくかかりつけの病院へ行くことを進めている）

サ ト ウ：実は…。少し死にたくなることもあって。  
（言いくさそうにしながら、思い切って打ち明ける）



保 健 師：ええ、死にたくなるって！（驚き、不快な表情になる）

弱気になることもあると思いますが、体調が良くなれば  
きっと元気になりますよ。



そんなバカなこと考えないようにしてくださいね。

まさか、自殺なんてしたら、みなさん困りますから、  
絶対だめですよ。



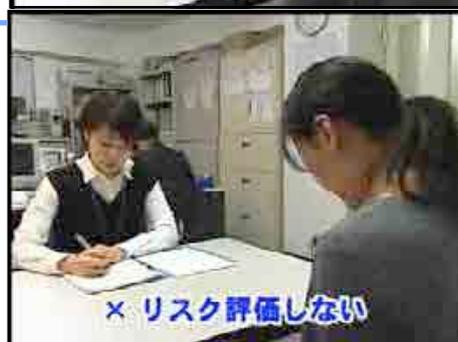
サ ト ウ：はあ……………

保 健 師：なんで死にたくなるんでしょうねえ。  
（少し困ったような表情）  
それじゃ、病院にでも行きますか。



サ ト ウ：あの……………実は借金があって……………

保 健 師：それでは仕方ないでしょうけど。（さらに困った様子で）  
ここでは借金の相談まではできないですしねえ。



サ ト ウ：……………

保 健 師：それに、借金のご家族は知ってるんですか？

サ ト ウ：いえ。

保 健 師：そんな大事なこと、ここで相談する前に、まずはご家族に  
相談しなきゃ。  
きっと心配して相談にのってくれるはずですよ。

サ ト ウ：実はこれを見て…（自殺対策のリーフレットを見せる）。  
借金の相談ができるって書いてあるので……………

保健師：ああ、それ見てらっしゃったんですね。

ここではなくて、消費生活相談の窓口です。いつか行ってみたらいいですよ。



サトウ：・・・はい・・・でも、相談しにくくて・・・

保健師：大丈夫。相談にのってくれるし大丈夫ですよ。



サトウ：はい・・・

保健師：ほかにはよろしいですか？

サトウ：・・・はい・・・

保健師：サトウさんは体調不良もあり、眠れないし、食欲もないみたいですから、今かかっている病院に行ってみてください。



サトウ：・・・はい・・・

保健師：いろいろ悩んでるようですが、しっかり身体を見てもらえば安心だから、お医者さんに診てもらってください。

サトウ：・・・はい・・・（沈んでいる）

保健師：なんか、元気ないですね。サトウさん、しっかりしなきゃね。頑張っ



サトウ：はい・・・ありがとうございました。  
（来た時よりさらに沈んで退席。部屋を出る）



■佐藤陽子さん、42歳。会社員の佐藤さんは、現在東京で一人暮らし。遠く離れた両親に毎月仕送りをしています。しかし昨今の不況で収入は減るばかり。150万の借金をかかえながら、日々の生活費にも苦しみ、最近では食欲もなく眠れない日が続いています。



(オフィス)

保健師：こんにちは。どうかされましたか？



サトウ：……ええ……

ちょっと悩んでいることがあって……。このリーフレットを見て相談に来てみたんです（自殺対策リーフレットを見せる）



保健師：そうでしたか。どうぞ、お座りになって下さい。よろしければ、少しお話し伺えますか？こちらで相談にのれることがあるかもしれません。



サトウ：はあ……でも、話をしてもどうにかなることだったらいのですが……。問題がいっぱいありすぎて、もう……生きているのが嫌になるくらいなんです……

保健師：生きているのが嫌になるくらい……それはお辛いですね。もしかして、死にたいと思っていらっしゃるのですか？



サトウ：ええ、最近をよくそう思うてしまうのです。

保健師：そうですか。死にたいと思うほど、お辛かったんですね。



サトウ：はい。

保健師：ご相談に来て下さってよかったです。

なにか、死にたいと思って具体的な方法まで考えていますか？



サトウ：…実は、今日車の中で練炭をたいて死のうと思っていました…

保健師：そうでしたか。それほど追い込まれていたんですね。

サトウ：ハイ

保健師：実際に練炭はもっているんですか？



サトウ：車の中にあります。

保健師：今も車の中にあるんですか？

サトウ：あります。

保健師：練炭は私の方で預かってもいいですか。

そのような選択しないで済むように、私と一緒に悩んでいることを解決していきましょう。



サトウ：ええ…でも、どうしたらいいのか…一人ではどうしたらいいのか分からなくて…

保健師：もしよかったら、心配なことを話していただけませんか？



サトウ：はい…実は…誰にも話してないんですが、…借金があるんです。150万円ほど…返済できず、また別のところから、借りることもあって・・・  
どうしようもなくなってって・・・



保健師：お金のことで悩んでいらっしゃるんですね。



サトウ：はい。たった150万かもしれませんが、私にとっては大金なんです。  
私ひとりでは、返せないんです・・・



遠くに年老いた両親がいて、仕送りもしているのです。本当は一生懸命働いて、お金を稼がなきゃいけないと思うんですけど、全然やる気がなくて・・・



最近、仕事に集中できないし、失敗も多くなって、上司から注意されるんです・・・  
自分が情けなくなります…(泣)私の調子を心配して、親がときどき電話をかけてくるんです。でも、心配をかけたくないし・・・みんなに迷惑かけてしまう・・・  
だから、もう、私なんて・・・生きていない方がいいんです。



保健師：ご自身の生活もあり、ご両親への仕送りもなさって本当に大変でしたね。  
今まで良く頑張っただけでしたね。



サトウ：…ありがとうございます…（泣）。最近は何も眠れなくて……。  
それに、食べられない時もあるので。とてもつらいんです。



保健師：それは、おつらいですね。

サトウ：はい。



保健師：佐藤さん、私たちは、あなたの悩みを一緒に考えて、あなたの助けになりたいと思っています。

サトウ：はい……



保健師：いろいろな問題に対して専門の相談窓口がありますが、ご存じでしたか？

サトウ：いいえ……詳しくはわかりませんでした。  
自分のことだから、自分で何とかしなきゃと思って…。

保健師：そうだったのですね。今までのお話から、サトウさんはいろいろと悩みを抱え、気持ちが落ち込んで、やる気がでない、集中できない、食べられない、眠れないというような状態で、自分を責めてしまったり、とても追い詰められて死にたくなることもおありだと思います。

サトウ：はい。その通りです。

保健師：以前のあなたとは全然違う状態なんじゃないですか？

サトウ：はい。以前やれていたこともできなくなってるし、頑張りもきかないし……

保健師：それはうつ状態かもしれません。

サトウ：そうなんですか？

保健師：はい。今はうつに対する治療法がたくさんあります。  
治療を受けることで、今のつらさが和らぎ徐々に元のあなたに戻るができると思います。



ですから、治療を受けることは、とても大切なことなんですよ。

サトウ：大切なこと……。どこに行けばいいんですか。



保健師：精神科か心療内科がいいと思います。心の相談にのってくれるところなのでいろいろな援助を一緒に考えてくれます。また、かかりつけの先生がいる場合や、近くに精神科医がない場合は、かかりつけの先生に相談してもいいと思います。



サトウ：例えば、病院ではどんなことをしてくれるのですか？

保健師：具体的には、気持ちの面だけではなく、身体の問題についても調べたり、治療の必要性について相談にのってくれます。  
その上で、今の病気の説明とか、どう過ごすのがよいかアドバイスをくれます。



保健師：もちろん、今、悩んでいらっしゃる仕事のことについても、どうしていけば良いか相談にのってくれると思います

専門の相談窓口があります。まずは、受診されて、あなたの今の状態を診て頂くことがよいと思います。  
そして、「自分がうつ病ではないか」と思っていることを、正直にお医者さんに伝えることが、問題の解決につながると思います。



サトウ：はい。

保健師：先生があなたの話を、親身になって聴いてくれますよ。



サトウ：では、受診したいと思うんですけど、どこか、ありますでしょうか？

保健師：そうですね。

お住まいの近くなど、通院しやすい病院が良いかと思うのですが、いかがでしょうか？



サトウ：はい。あの、例えば、この辺りですとか、バスで行けるようなところにどこかありますか？

保健師：（クリニックマップを差し出し）このような病院があります。



サトウ：自宅の近くの精神科の先生のところに行ってみます。

保健師：もし、通院で不安に感じるようなことがありましたら、ご相談ください。



サトウ：安心します。

保健師：うつ病にかかっても、ほとんどの人は入院しないで回復に向かいます。  
まだ、午前中ですし、精神科の先生に相談してみませんか？

サトウ：はい、お願いいたします。

## (オフィス)

(電話をかける場面)

保 健 師：保健所の保健師のコバヤシです。いつもお世話になって  
います。今日、相談に来られた方で、少しうつが疑われる状  
態なので見ていただけないかと思ひまして。

医 師：そうですか。どんな具合ですか？

保 健 師：借金もあるようで気持ちが落ち込み、やる気が出ない、眠れない、食べられないという感じで、  
自殺念慮もあります。  
かかりつけの先生から睡眠薬をもらっていたようですが。

医 師：そうですか。ずいぶん辛いようですね。

保 健 師：今日診ていただくのはいかがでしょうか。

医 師：3時ごろでしたら時間がありますが、いかがでしょうか。

保 健 師：はい。それではご本人と相談してみます。それでは診察をお願いできますか。

医 師：もちろんです。お名前はなんとおっしゃいますか。

保 健 師：サトウさんです。

医 師：了解しました。

保 健 師：私も一緒に伺おうと思っています。それではよろしく申し上げます。

## (相談スペース)

保 健 師：サトウさん、今日の3時以降なら見てくれるようです。

サ ト ウ：ありがとうございます。

保 健 師：私もご一緒しようと思ひますが、どうでしょうか。

サ ト ウ：ぜひお願いします。

保 健 師：大丈夫ですよ。また、かかりつけの先生の紹介状をもらって来て欲しいということでしたので、  
かかりつけの先生に相談に行きましょうか。

サ ト ウ：わかりました。

保 健 師：それと、お金のことですが、借金が150万ほどあるとい  
うことでしたね。



サ ト ウ：はい。5～6社の消費者金融から借りてまして・・・、利息ばかりが大きくて、返しても返しても、額が減らないんです。困ってしまって・・・



保 健 師：借金の相談にのってくれる専門の相談窓口もあるんですよ。消費生活センターや法テラスなどの法律相談の窓口でも相談できるし、NPO法人でもいろいろと相談できる場所があります。

ここの建物内には、消費生活センターの相談窓口がありますから、これからお時間がとれるようでしたら、相談にいきませんか？



サ ト ウ：相談って、お金かかるんですね。

保 健 師：お金はかからないんですよ。

私が消費生活センターの窓口までご案内いたします。もし、ひとりで相談をするのに不安を感じるようでしたら、相談に同席することもできますので、安心なさってください。



サ ト ウ：では、お願いします。ちょっと、ひとりでは不安ですの  
で・・・

保 健 師：わかりました。消費生活センターに相談に行きましょうか？

サ ト ウ：はい。

## (オフィス)

(消費生活センターへ電話)

センター：はい。こちら消費生活センターです。

保健師：保健所の保健師のコバヤシです。いつもお世話になっております。

センター：ありがとうございます。今日はどうされましたか？

保健師：借金もあり、うつ状態が疑われる方が保健所に相談に来られました。借金が150万ほどあるのですが、消費者金融からも借りており、返済のことなど相談にのってほしいと思って連絡させていただきました。うつ状態の方は今日のお昼過ぎに精神科の先生の診察を受けることになっています。自殺念慮もあり深刻な状態です。

センター：わかりました。

保健師：いつごろだと相談にいてもいいでしょうか。

センター：そうですね。今日でも、明日でもよいですよ。

保健師：それでは、精神科へ行ったあと、疲れていなければ、ご本人の問題について少し相談させていただければと思います。

センター：了解しました。

保健師：私も都合がつけば一緒に伺おうと思います。

## (相談スペース)

保健師：佐藤さん。消費生活センターは今日、明日でも相談は構わないということでした。

サトウ：そうですか。よかったです。

保健師：どうされますか。

サトウ：今日は病院いくので精一杯かもしれないので、明日行きたいと思います。

保健師：明日でしたら、私も時間がありますので、ご一緒しようと思っておりますがいかがですか？

サトウ：ありがとうございます。どのように相談したらよいかもわからないので。

保健師：それでは消費生活センターにお電話を入れておきますね。

サトウ：はい。



保健師：今後も、困ったことなどがあれば、相談に乗らせていただきたいと思っています。  
病院を受診した後も、どのようになったか、またお話を聞かせていただけますか？



サトウ：ありがとうございます。誰にも相談できなかったので、助かります。

保健師：ご家族とも一緒に相談していきませんか？



サトウ：いえ、心配かけるのがつらくて…。

保健師：そうですね。心配かけたくないということでしたね。

サトウ：はい。

保健師：お気持ちはすごくわかります。そのような気持ち踏まえて、どのようにご家族に話したらよいかも相談していきませんか。私の方でお辛い状況をお伝えして、ご家族と一緒に考えていけるようにしていきたいと思うのですが。

サトウ：はい、今日は、もう死ぬしかないなあと思っていましたが、少し安心しました。

保健師：そうですか。ありがとうございます。私の方でも少しお役に立てて良かったです。

サトウ：こちらこそありがとうございました。